

第12回廃棄物学会研究発表会 参加案内

10月31日(水)～ 11月2日(金)

1. 開催期日：2001年10月31日(水)～11月2日(金)
2. 会場：神奈川県民ホール(総合受付) 横浜市開港記念会館、他

【会場(総合受付)へのアクセス】

横浜駅東口バスターミナル 番ポールより市営バス8,20,58,125系統
桜木町駅バスターミナル 番ポールより市営バス11,109,131,140系統
...いずれも「神奈川県民ホール」下車徒歩3分



3. 参加申込方法

- 1) 事前申込：この冊子に同封の参加申込書(事前振込用)に漏れなく記入の上、廃棄物学会事務局までFAX又は郵送すると同時に参加費を下記振込先へ振り込んで下さい(申込書の送付は振込作業より先に行ってください)。入金を確認され、登録が完了した時点で参加証(講演論文集引換券付)を郵送いたします。
- 2) 事前申込受付期間：2001年9月3日(月)～9月28日(金)・・・締日以降に振り込まれますと参加証が手元に届かない場合がありますのでご注意ください。
- 3) 参加費：正会員並びに公益・賛助会員所属；7,500円、学生会員；4,500円、非会員；12,000円
- 4) 申込先：〒108-0014 東京都港区芝5-1-9 豊前屋ビル5階 廃棄物学会事務局 Fax. 03-3769-1492
- 5) 振込先：

銀行名；第一勧業銀行 芝支店(店番号：054)
口座名；廃棄物学会研究発表会(八件ブツツクイケンゴハルヨカイ)
口座番号；普通 2504706 <small>【振込手数料はご負担願います】</small>

講演論文集の事前送付を料金受取人払いにて承ります。希望される方は、参加申込書(事前振込用)にて申し込んで下さい。参加費振込確認後、研究発表会参加証を同封して発送いたします。お届は10月中旬になります。

- 6) 当日申込：事前申込ができなかった場合は、会場にて当日受付をご利用下さい。本案内23ページの当日受付用申込書に必要事項をご記入の上、切り取って会場にお持ち下さい。参加費は事前申込と同じです。現金払いのみで、後払いは一切承っておりません。なお、参加費は釣銭のないようご用意願います。

4. 開催内容：

1) 研究発表：383件（口頭発表305件、ポスター発表78件）

ポスター発表は二日に分けて行います。発表日についてはプログラムをご覧ください。

平成12年度廃棄物学会有功賞、論文賞、著作賞、奨励賞の受賞者講演（7件）を関連セッション（A2, A5, A7, B3, C2, D1, E3）の中で行います。プログラムをご覧ください。

口頭発表に対して「優秀プレゼンテーション賞」、ポスター発表に対して「優秀ポスター賞」の表彰を行います。目的、審査方法等については、本案内23ページで公表しています。優秀ポスター賞は二日目懇親会において審査結果の発表・表彰を行い、優秀プレゼンテーション賞は、後日廃棄物学会ニュース等で発表いたします。

2) 特別講演：11月1日（木）15:45 - 18:15 第1会場（神奈川県民ホール小ホール）

加藤三郎（株環境文明研究所） 「廃棄物新時代に向けての提言」

中西準子（横浜国立大学大学院） 「リスク管理のためのリスク評価手法開発 - ダイオキシンを例にして - 」

3) 国際セッション：11月1日（木）9:15 - 15:40 第8会場（横浜市開港記念会館6号室）

4セッション、口頭発表22件

4) 小集会

行政研究部会 10月31日（水）13:00 - 15:00 第8会場（横浜市開港記念会館6号室）

「家電リサイクル法施行から半年を経て・・・現場からの報告」

趣旨：廃家電製品による廃棄物処理への負担を軽減し、排出者、販売店、家電メーカーがそれぞれの責務を果たしながらリサイクルを促進するための「家電リサイクル法」が施行されてから半年が経過した。

行政研究部会では、今後より良い家電リサイクルを進めるため、関係方面から施行半年後の現状報告を行い、現時点でのリサイクルによる成果を評価するとともに問題点を洗い出し、より良いリサイクルの推進策を模索する。

プログラム: 司会 早川 哲夫（麻布大学環境政策学科）

パネラー 大河内桃子（学生）

小黒佳代子（主婦）

工藤 貴史（さいたま市環境施設課）

坪井 晴人（日本鋼管株）

藤野 貴久（渋谷区清掃事務所）

交渉中（収集運搬業者）

交渉中（家電製品事業者）

交渉中（環境省リサイクル担当課）

交渉中（経済産業省リサイクル担当課）

廃棄物計画研究部会 10月31日（水）15:15 - 17:15 第8会場（横浜市開港記念会館6号館）

「廃棄物計画と情報・学習 参加型まちづくりの一つとして」

趣旨：都市計画の分野で「参加型まちづくり」の手法が定着しつつある。廃棄物分野でも参加型計画をめざすうえで、情報の伝達・共有（情報の発信と受信）は不可欠である。その情報を正しく理解し、計画に意見を反映していくためには教育・学習の持つ意味は大きいと考えられる。こうした考え方のもと、環境教育・学習や情報開示の現状を整理したうえで、具体例をまじえながら参加型計画での情報・学習のあり方を検討する。

今回の小集会は、廃棄物計画部会の5つの自主研究グループの内の「市民・学習G」が中心に主催する。平成13年度からの3ヵ年研究の初年度であり、研究の方向性を参加者と共に議論する。

プログラム：代表あいさつ 古市 徹（北海道大学）

趣旨説明 瀬尾 潔（清水建設株式会社）

報告 越場 暖之（株式会社環境技研コンサルタント）

富安 健（明治コンサルタント株式会社）

馬場 高志（株式会社住信基礎研究所）

高橋 富男（日本技術開発株式会社）

有害廃棄物研究部会 10月31日(木)18:30-20:30 第3会場(ワークピア横浜 くじゃく)

「POP s条約と今後」

- プログラム: 1.(仮)化学物質管理の潮流 中杉修身(国立環境研究所)
PRTR、POP s条約、PCB特措法、リスク管理
2.(仮)POP s条約の成立と今後 細見正明(東京農工大学)
POP s条約成立までの論点、今後の課題
3.(仮)ヘキサクロロベンゼンの発生源と環境挙動 酒井伸一(国立環境研究所) 高月紘(京都大学)
発生源、トレンドと環境移動、対策の方向性
4.(仮)有機臭素化合物の環境影響 太田壮一(摂南大学)
PBDE sの毒性、最近の環境汚染データ
5.(タイトル未定) 加藤みか(横浜国立大学)
PRTR詳論、POP s簡易モニタリング

廃棄物試験・検査法部会 11月1日(木)13:30-15:30 第7会場(横浜市開港記念会館1号室)

趣旨:この小集会では,(1)分析化学の立場から、廃棄物の化学分析に関する講演を企画すると共に,(2)過去3年間部会員の活動として行ってきた共通試料による共同分析の結果を報告し、また(3)今年の活動として、今後の廃棄物の試験検査法のあり方について、提案とディスカッションを行います。

プログラム(1)企画説明

- (2)部会活動報告
(3)講演 千葉光一先生(50分の講演+質疑10分)
”廃棄物と分析化学 - 産業廃棄物焼却飛灰のキャラクタリゼーションと元素の物性 - ”
(4)化学性状サブ研究会の活動報告(共通試料による共同分析結果の報告)(各10分)
発表者 貴田晶子(広島県保健環境センター)
田崎智宏(国立環境研究所)
中村和史(クリーンジャパンセンター)
(5)今年度の活動-今後の廃棄物の試験・検査法体系について(30分)
提案者 大迫政浩・田崎智宏(国立環境研究所)

廃棄物焼却研究部会 11月1日(木)15:30-17:30 第3会場(ワークピア横浜 くじゃく)

「中間処理におけるマスバーンの再評価」(予定)

リサイクルシステム・技術研究部会 11月1日(木)15:30-17:30 第4会場(ワークピア横浜 おしどり)

趣旨:2001年度から新研究部会として設置された「リサイクルシステム・技術研究部会」の活動目標、これまでの研究会活動報告を提示すると共に、今後2ヵ年での活動計画のたたき台を提示し、ワ-クショップ形式で今後の活動方向についての討議を深め、また、新たな部会への参加(メール会員も含め)を呼びかける。

- プログラム:報告-リサイクルシステム・技術分野の展開像 部会長
報告-廃棄物学会におけるこの分野の研究の系譜 部会員代表
討議-リサイクルシステム・技術研究部会の活動方向
-活動計画に関するたたき台としての資料説明
-会場参加者でのワ-クショップ形式での討議

5)市民展示:10月31日(水)~11月1日(木)横浜産貿ホール展示場・横浜情報文化センター情文ホール

6)書籍展示:10月31日(水)~11月1日(木)横浜産貿ホール展示場

7)若手の会:10月31日(水)18:30-20:30 ワークピア横浜 いちょう

若手の会では、総会及び夕食会を上記日程で開催準備中です。奮ってご参加ください。尚、年齢制限はありませんので、自称若手の方、若手に注文をつけたいと思っていらっしゃる方も大歓迎です。詳細が決まり次第、廃棄物学会ホームページ及び若手の会会員の方には電子メールでお知らせします。初めて参加の方、メールアドレスが変更になった会員の方は下記まで参加希望をお知らせいただければ幸いです。

参加費:3,000円(予定)

参加希望連絡先:鈴木慎也(福岡大学工学部)E-mail:ssuzuki@fukuoka-u.ac.jp Fax:092-863-8248

8) 懇親会：11月1日(木) 18:30-20:30 ザ・ホテル・ヨコハマ

(1)参加費：5,000円 (当日会場にてお支払い下さい。)

(2)申込方法：2日目午前より総合受付にて受付いたします。研究発表会参加証を懇親会受付にお出し下さい。

9) 施設見学会：11月2日(金) 13:00 - 17:30

(1)参加費：A・B・Cコース 各コース2,000円 (当日会場にてお支払い下さい。)

(2)申込方法：各コースとも先着順。初日午前から総合受付にて受付いたします。研究発表会参加証を見学会受付にお出し下さい。

(3)コース：

コース名	Aコース(川崎コース)	Bコース(鶴見コース)	Cコース(金沢コース)
見学施設	<ul style="list-style-type: none"> ・かながわクリーンセンター (産業廃棄物処理施設) ・NKKトリニケンス (家電製品リサイクル工場) ・麒麟ビール (ビール製造工場) 	<ul style="list-style-type: none"> ・TEPCO横浜リサイクルセンター (PCB処理施設) ・鶴見工場・資源化センター (びん・缶・ペットボトルの選別施設) ・麒麟ビール (ゼロエミッション工場) 	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜環境保全 (生ごみの堆肥化施設) ・横浜市有機リサイクル協同組合 (生ごみの飼料化施設) ・金沢工場 (焼却灰の溶融化施設)
行程	13:00 横浜産貿センター発 13:30 かながわクリーンセンター着 14:30 かながわクリーンセンター発 14:45 NKKトリニケンス着 15:45 NKKトリニケンス発 16:00 麒麟ビール着 17:00 麒麟ビール発 17:30 横浜駅着	13:00 横浜産貿センター発 13:20 TEPCO横浜リサイクルセンター着 14:00 TEPCO横浜リサイクルセンター発 14:15 鶴見工場・資源化センター着 15:00 鶴見工場・資源化センター発 15:10 麒麟ビール着 17:00 麒麟ビール発 17:30 横浜駅着	13:00 横浜産貿センター発 13:30 横浜環境保全着 14:00 横浜環境保全発 14:15 横浜市有機リサイクル協同組合着 14:45 横浜市有機リサイクル協同組合発 15:00 金沢工場着 16:30 金沢工場発 17:30 横浜駅着
定員	50名	50名	50名

10) 併催・環境ソフトウェア展(主催/環境新聞社): 10月31日~11月1日 横浜産貿ホール展示室

第12回研究発表会セッションプログラム

(講演番号の前のPはポスター発表<P1:1日目発表、P2:2日目発表>、その他は口頭発表)
(各セッション座長2人制、五十音順)

- A 1 ごみ発生(1) 【10月31日(水) 第7会場 13:00-15:00】
座長 佐藤茂夫(日本工業大学), 早瀬光司(広島大学)
- A 1-1 2期の継続調査データを用いた家庭ごみ排出量の季節変化分析
東京都立大学 小泉 明、荒井康裕 東京都環境科学研究所 谷川 昇
- A 1-2 鎌倉市における家庭系ごみの焼却量削減について~ごみ半減計画策定から4年を経て~
鎌倉市 相澤達彦 国際航業(株) 井土将博、加藤利崇
- A 1-3 単独世帯のごみ排出実態に関する一考察
東京都立大学 小泉 明、荒井康裕、大和田健郎
- P1 A 1-4 コンビニエンスストアの食品廃棄物の実態調査
日本工業大学 佐藤茂夫、根本大地 (株)シーズリー 野口豊勝
- A 1-5 地球環境から見た給食残飯の処理に関する考察(神奈川県の場合)
東海大学 井上義雄、加藤 尚
- A 1-6 コンクリートのマテリアルフローの推定
金蘭短期大学 桑垣 豊
- A 1-7 東京都の産業廃棄物の産業連関分析
東京都環境科学研究所 占部武生
- A 1-8 都市における不要物の発生・循環構造の推定
復建調査設計(株) 羽原浩史 北海道大学 松藤敏彦、田中信壽
- A 1-9 家庭系有害廃棄物と引っ越しごみの排出実態について
京都大学 高月 紘、(現 国立環境研究所)酒井伸一 日本水工設計 小清水大
- A 2 ごみ発生(2) 【10月31日(水) 第7会場 15:15-17:00】
座長 小泉春洋(株)地域計画建築研究所), 古田秀雄(日本技術開発(株))
- A 2-1 『平成12年度廃棄物学会論文賞』受賞者講演 「都市におけるごみ流れと廃棄物管理」
北海道大学 松藤敏彦、田中信壽
- A 2-2 公共空間における散乱飲料容器ごみの変動特性について
立命館大学 天野耕二、川那陪弘規
- A 2-3 公共空間における分別表の有無、ごみ箱の型や撤去など散乱ごみコントロール策と住民知識、意識
広島大学 張 允鐘、河合慎一郎、仲尾晋作
- A 2-4 家庭から廃棄されるパーソナルコンピュータ等の排出実態
東京都環境科学研究所 及川 智、谷川 昇
- A 2-5 家電製品に含まれる電子基板類の廃棄量の推定
日本工業大学 中丸陽一、佐藤茂夫
- A 2-6 長寿命建築物普及シナリオの環境経済評価シミュレーション
九州大学 中山裕文、小宮哲平、北九州市立大学、松本 亨
- P2 A 2-7 F市における廃棄物管理支援システムの導入事例
国際航業(株) 楠 幸二、加島 健
- P1 A 2-8 ラオス(の首都ビエンチャン)廃棄物事情
小川泰生
- A 2-9 LLDC 都市部における廃棄物の排出と収集 - カンボジア王国プノンペン市を事例として -
東京大学 角倉和恵、山下英俊
- A 3 有料化/経済分析 【11月1日(木) 第3会場 13:45-15:30】
座長 牛嶋 仁(福岡大学), 寺園 淳(国立環境研究所)
- A 3-1 家庭系及び事業系ごみの広域的処理に関する経済的一考察 首都圏T地域におけるケーススタディ
東京都立大学 稲員とよの、小泉 明、手島顕之
- A 3-2 家庭ごみ・し尿発生原単位および家計消費の計量経済分析
早稲田大学 高瀬浩二
- A 3-3 廃棄物処理費用と財価格:廃棄物産業連関による分析
早稲田大学 中村慎一郎 富山大学 近藤康之
- A 3-4 廃棄物分析用の需要主導型・供給主導型結合生産モデルの基本的な枠組み
国立環境研究所 加河茂美、森口祐一 東北大学 稲村 肇

- A 3-5 建設廃棄物リサイクル促進のための課税モデル
政策研究大学院大学 中村玲子
- P2 A 3-6 F R P 廃漁船を事例とした前払い式証票による廃棄物処理資金造成方法の検討
ミクニヤ環境システム研究所(株) 愛澤政仁、若松純子、正木直子
- A 3-7 一定量無料従量制のごみ有料化実施都市におけるごみ減量特性について
富山県立大学短期大学部 天野智順、吉井文子
- A 3-8 廃棄物処理有料化政策に関する総合評価 - 一般均衡理論的フレームワークの展開 -
産業技術総合研究所 大島克哉 筑波大学 安田八十五
- P1 A 3-9 廃棄物処理有料化政策に関する実証分析と政策提言 - 便益評価モデルの実際 -
産業技術総合研究所 大島克哉 筑波大学 安田八十五
- P2 A 3-10 家庭系ごみ収集有料化実施都市の分類とごみ排出量の変動要因について
立命館大学 天野耕二、竹林康行
- P1 A 3-11 レジ袋削減のための買い物袋有償販売政策の評価
筑波大学 安田八十五、横山雄介
- A 4 住民参加・意識 【11月2日(金) 第7会場 9:30-11:30】
座長 押谷 一(酪農学園大学), 中村恵子(市民まちづくり研究会)
- A 4-1 ディスポーザーの使用に対する期待と評価について
(財)日本環境整備教育センター 楊 新泌、国安克彦、大森英昭
- A 4-2 情報提供を伴う働き掛けが家庭ごみの排出量に及ぼす影響について
千葉市 神崎広史
- P2 A 4-3 市民意識調査を基にしたリサイクル行動の特性分析
千葉市 神崎広史
- A 4-4 リサイクル行動の不実行の理由に関する検討
日本学術振興会 篠木幹子 東北大学 海野道郎、荒井貴子
- A 4-5 札幌市の集団資源回収における役割分担の現状と方向性
北海道 館小路順 北海道大学 古市 徹、東海明宏
- A 4-6 住民参加を考慮した自治体の意思決定支援システム
岡山大学 田中 勝 国立環境研究所 大迫政浩 (株)富士総合研究所 藤井 崇
- A 4-7 廃棄物マネージメントを支援する建築・都市システムの構築
住民意識からみた住宅・地域のリサイクル支援システムの在り方
鹿島建設(株) 間宮 尚 日本女子大学 飯尾昭彦 東京大学 鎌田元康
- A 4-8 住民意識調査による循環型社会度指標に関する研究
岡山大学 林 由子、石坂 薫、田中 勝
- A 4-9 廃棄物最終処分場事業における合意形成システムの基本概念
西武建設(株) 成島誠一 北陸先端技術大学院大学 五井隆浩
- A 5 L C A 【11月1日(木) 第3会場 9:30-11:30】
座長 大矢仁史(産業技術総合研究所), 中野加都子(関西大学)
- A 5-1 『平成12年度廃棄物学会論文賞』受賞者講演 「経済循環と廃棄物循環の定量分析」
早稲田大学 中村慎一郎
- P1 A 5-2 生活行為に起因する環境負荷の把握に関する調査研究 可燃ゴミの焼却処理に関わる環境負荷の把握
東京理科大学 木原勇信、井上 隆 鹿島建設(株) 間宮 尚
- A 5-3 住宅解体後の廃棄物処理の現状と環境負荷の検討
東京理科大学 小林謙介、井上 隆 鹿島建設(株) 間宮 尚
- A 5-4 廃プラスチック再資源化処理のL C A - 名古屋市におけるP S Pトレイのケーススタディ -
豊橋技術科学大学 中野勝行 中部リサイクル運動市民の会 伊藤 裕 豊橋技術科学大学 金 熙濬
- A 5-5 L C Aによる各種飲料容器材料の環境負荷の検討
東京大学 澤谷 精、花木啓祐
- P2 A 5-6 都市ごみゼロエミッションシナリオのコスト・二酸化炭素排出量・エネルギー消費量評価
北海道大学 松藤敏彦、田中信壽 復建調査設計(株) 羽原浩史
- P1 A 5-7 環境マネジメントシステムにおける環境影響評価手法の分析
東京工業大学 上原亜弓 (財)鉄道総合技術研究所 野澤浩之、御船直人
- A 5-8 リサイクルのLCIにおける配分手法の提案と根拠 意志決定と情報の流れに着目して
環境テクノス(株) 中村昌広
- A 5-9 L C Aデータの経済的評価と環境会計への応用 - 投資家対象コンジョイント調査による評価 -
早稲田大学 栗山浩一 神戸大学 國部克彦 (株)リコー 羽田野洋充
- A 5-10 L C A と L C C の統合による廃棄物処理技術の導入評価
早稲田大学 永田勝也 新日本製鐵(株) 長田守弘 早稲田大学 古藤田剛彰

- P2 A 5-11 環境ラベルタイプ のためのLCAへの取り組みと課題
-九州地域環境・リサイクル産業交流プラザLCA研究会による実践 -
北九州市立大学 松本 亨 福岡県リサイクル総合研究センター 櫻井利彦 環境テクノス(株) 中村昌広
- A 5-12 LSA(Life Style Assessment)の提案 - 統合化指標 ELP を用いたライフスタイルの評価 -
早稲田大学 永田勝也、若狭俊治、 小久江啓聰
- P1 A 5-13 レスキュー・ナンバー (RN) によるWC - Co超合金リサイクルシステムの評価
名古屋大学 笹井 亮、小島 隆、伊藤秀章
- A 6 容器包装・家電などのリサイクル 【 10月31日(水) 第3会場 10:00-12:00 】
座長 外川健一(九州大学), 羽原浩史(復建調査設計(株))
- A 6-1 「その他プラスチック容器包装」分別収集方法検討のための基礎調査から見た容器包装リサイクル法、
伊達市環境基本条例、審査会の問題点
市民まちづくり研究会 中村恵子
- P2 A 6-2 その他プラスチック製容器包装のリサイクルによる市町村負担に関するケーススタディ
(株)中央設計技術研究所 林 陽子、山本正樹、高柳善彦
- A 6-3 容器包装リサイクル法「その他プラスチック」実施市町村における実施形態
滋賀県立大学 川島安希代、 金谷 健
- A 6-4 飲料容器のリサイクル費用の容器間比較~自治体における飲料容器のリサイクル費用の総合評価~
筑波大学 安田八十五、 松田愛礼
- A 6-5 リサイクルプラザにおける家電リサイクル方式の評価に関する研究
山口大学 前中隆文、浮田正夫、樋口隆哉
- P1 A 6-6 家庭用デスクトップ型パソコンのリサイクルによる環境負荷低減効果
東京大学 前田博貴、島崎 大、山本和夫
- A 6-7 不要パソコンにおける回収・処理システムのモデル化と分析
オリックス環境(株) 三岡美樹
- A 6-8 処理費用の変化が使用済み自動車リサイクル・処理へ及ぼす影響~沖縄県のリサイクル・処理の実態から~
中央大学 布施正暁
- A 6-9 易解体性を考慮した設計手法の検討 - 各種工業製品の解体解析 -
早稲田大学 永田勝也、納富 信、小野田弘士
- P2 A 6-10 易解体性を考慮した設計手法の検討 - 家庭用ミシンの解体解析 -
早稲田大学 永田勝也、松原仁志、小野田弘士
- A 6-11 長期使用化を指向した自動車の設計に関する検討 - 再使用部品の利用促進の提案 -
早稲田大学 永田勝也、服部芳也、齋藤康光
- A 7 リサイクルシステム・評価 【 11月2日(金) 第6会場 9:30-11:45 】
座長 山本幸司(名古屋工業大学), 横山道子(東京大学)
- A 7-1 『平成12年度廃棄物学会著作賞』受賞者講演 「動脈経済と静脈経済の統合に向けて」
慶應義塾大学 細田衛士
- A 7-2 ゼロエミッション実現のための条件とその課題
東洋大学 信澤由之
- P1 A 7-3 地域の産業転換とエコタウン事業
国立環境研究所 山田正人、大迫政浩 (株)富士総合研究所 斉藤 聡
- A 7-4 地域物質循環型社会構築のためのデータベースとその利用法
豊橋技術科学大学 堀田雅也、船津公人、成瀬一郎
- P2 A 7-5 オフィス街における古紙回収システム導入のアクションリサーチ
愛知教育大学 杉浦淳吉 中部リサイクル運動市民の会 萩原喜之 津島市 浅井直樹
- A 7-6 銅リサイクルのエクセルギーを用いた評価の試み
産業技術総合研究所 大矢仁史、遠藤茂寿、稲葉 敦
- A 7-7 北海道釧路地域における木造住宅解体廃木材の再資源化についての検討
北海道立林産試験場 高山光子、石河周平、原 一弘
- A 7-8 発生量空間分布を考慮した再資源化施設配置による廃棄物輸送距離の最小化
豊橋技術科学大学 田畑智博、後藤尚弘、藤江幸一
- A 7-9 札幌市を対象とした家庭生ごみのリサイクルシナリオの提案と評価
~生ごみ廃棄行動に関する市民アンケートの結果から~
日本技術開発(株) 太田愛恵 北海道大学 古市 徹、東海明宏
- A 7-10 離島地域における有機系廃棄物の循環システム成立可能性に関する基礎調査(東京都新島村を対象として)
日本上下水道設計(株) 田崎滋久、本林秀文、田中秀治
- A 7-11 有機系廃棄物リサイクルシステムの健全性評価のための手法とその適用~道央地域を対象として~
(株)クボタ 兼行 孝 北海道大学 古市 徹、東海明宏

- P1 A 7-12 道央地域における家畜糞尿の利用促進シナリオの導入可能性の検討
清水建設㈱ 倉下 啓 北海道大学 古市 徹、東海明宏
- A 8 廃棄物管理・計画など 【10月31日(水) 第7会場 10:00-12:00】
座長 天野耕二(立命館大学), 松村治夫((財)日本産業廃棄物処理振興センター)
- A 8-1 一般廃棄物処理事業へのPFI導入可能性に関する検討
北海道大学(現 三菱マテリアル㈱) 柴谷 潤 北海道大学 田中信壽、松藤敏彦
- P2 A 8-2 廃棄物産業連関表(1995年全国表)の推計
富山大学 近藤康之 早稲田大学 高瀬浩二、中村慎一郎
- A 8-3 最終処分システムを構想支援するための計画モデルの提案
北海道大学 石井一英、古市 徹 青森県 蛭名由美子
- P1 A 8-4 建設汚泥管理システムの設計と評価方法の提案(その2)
日本工営㈱ 小澤 段 国立環境研究所 大迫政浩 日本大学 田中和博
- P2 A 8-5 環境報告書の評価解析と比較検討の実施例
広島大学 金 載分、張 允鐘、早瀬光司
- A 8-6 小規模オフィスにおける環境マネジメントシステムの構築とその継続的改善
広島大学 井山慶信、張 允鐘、早瀬光司
- A 8-7 環境効率ポテンシャル評価(E2-PA)法の開発
早稲田大学 永田勝也 ミクニヤ環境システム研究所㈱ 愛澤政仁、浅岡 健
- A 8-8 ごみ固形燃料の有用性と環境保全に関する調査研究() - RDF施設の維持管理状況について -
中外テクノス㈱ 川口晃司 環境計画センター 鍵谷 司
- P1 A 8-9 電池に含まれる金属の資源消費と水質汚染潜在負荷をみた廃棄削減対策の優先度判定
国立環境研究所 田崎智宏 横浜国立大学 亀屋隆志、浦野紘平
- A 8-10 循環・廃棄物分野における化学物質プライオリティリストのプロトタイプ作成
国立環境研究所 井上雄三、山田正人 (株)富士総合研究所 永田裕子
- A 8-11 環境影響評価におけるごみ焼却施設の大気質の予測方法について
横浜市 中村裕子、内田 昇、中坪学一
- A 8-12 建築解体廃棄物の都道府県別排出分布に関する研究
東北芸術工科大学 三浦秀一
- B 1 汚泥処理 【11月1日(木) 第4会場 13:30-15:15】
座長 早貸外幸(パシフィックコンサルタンツ㈱), 李 玉友(アタカ工業㈱)
- B 1-1 ダイナミックろ過方法によるし尿活性汚泥のろ過特性
ダイゼン・メンブレン・システムズ㈱ 井上洋司
ダイセル化学工業㈱ 浜田豊三 三菱重工業㈱ 水谷 洋
- B 1-2 無機・有機系固体産業廃棄物を利用した多孔性バルク体の合成とその機能評価
名古屋大学 虎澤雅寛、笹井 亮、伊藤秀章
- B 1-3 浄化槽汚泥搬入量の増加に対応した浸漬膜パイロット試験
アタカ工業㈱ 一瀬正秋、奥野芳男、芝田賢二
- P2 B 1-4 甘藷焼酎蒸留粕を用いた資源循環型蘇生紙ポットの諸特性
鹿児島工業高等専門学校 山内正仁、木原正人、平田登基男
- P1 B 1-5 下水汚泥焼却灰からのリン酸カルシウムとしてのリン回収実験
川崎市 高橋泰弘、吉田佳子、秦野正人
- B 1-6 下水汚泥焼却灰からのリン酸ナトリウムとしてのリン回収実験
川崎市 吉田佳子、高橋泰弘、秦野正人
- B 1-7 下水汚泥焼却灰等からのリン酸塩回収方法
三重県科学技術振興センター 高橋正昭、加藤 進 (財)国際環境技術移転研究センター 島 洋久
- B 1-8 下水汚泥焼却灰の溶融処理によるリン肥料化技術
日本下水道事業団 桑子松司 三機工業㈱ 小松貴司、岩井良博
- B 1-9 高濃度リン含有排水からのリン除去・回収プロセスの開発
国立環境研究所 井上雄三、吉川雄規 埼玉県環境科学国際センター 河村清史
- B 2 生ごみ処理 【10月31日(水) 第4会場 13:00-15:00】
座長 長田 隆(農業技術研究機構畜産草地研究所), 中崎清彦(静岡大学)
- B 2-1 爆砕操作を用いた柑橘類果皮の資源化
中央大学 小俣美咲、船造俊孝
- B 2-2 生ごみの再資源化を目的とした家庭用生ごみ処理機の利用と課題
関東学院大学 野知啓子、川本克也
- B 2-3 断熱型生ごみ発酵試験機の発酵特性と殖種菌床管理に関する2,3の考察
国立環境研究所 井上雄三、大迫政浩 (株)コシダテック 内田真由

- B 2-4 食品廃棄物の無希釈高速メタン発酵技術の構築
アタカ工業(株) 李 玉友、山本耕司、船石圭介
- B 2-5 有機系廃棄物再資源化実証プラントの運転報告(その2)
(株)タクマ 河野孝志、平尾知彦、益田光信
- B 2-6 食品廃棄物のメタン発酵システム
(株)東芝 松代武士、足利伸行、柴崎和夫
- B 2-7 厨芥のメタン発酵における最適可溶化条件の検討
(株)栗本鐵工所 中村幸子、杉村誠司、大江敏和
- P2 B 2-8 生ゴミ生分解に関与する微生物群集構造の表現型および遺伝子型による解析
秋田県立大学 堀沢 栄 国際農林水産業研究センター 佐久間洋 秋田県立大学 土居修一
- B 2-9 蘇生紙作製実用化装置(2、3号機)の開発
鹿児島工業高等専門学校 平田登基男、前野祐二、山内正仁
- B 3 メタン発酵 【10月31日(水) 第4会場 15:15-17:00】
座長 三崎岳郎(栗田工業(株)), 道宗直昭(生物系特定産業技術研究推進機構)
- B 3-1 『平成12年度廃棄物学会奨励賞』受賞者講演 「家畜のふん尿に起因する環境負荷ガスのイベントリー作成」
農業技術研究機構畜産草地研究所 長田 隆
- B 3-2 メタン発酵消化脱離液の牧草に対する肥料としての効果(第一報)
北海道立畜産試験場 阿部英則 (株)日本製鋼所 永井達夫、安江 昭
- B 3-3 し尿汚泥・生ごみを対象としたメタン発酵装置の高速立上方法
生駒市 片山芳明 三菱重工業(株) 中村謙治、藤瀬和彦
- B 3-4 ベトナム・メコンデルタにおけるバイオガスダイジェスター排出液中のリン酸、アンモニウム、ミネラル濃度、およびこれら成分の結晶化
農業技術研究機構畜産草地研究所 鈴木一好
国際農林水産業研究センター 渡辺 武 Cantho University Vo LAM
- B 3-5 豚糞尿廃棄物のメタン発酵液の生物浄化特性と窒素収支
(株)注原製作所 片岡直明、鈴木隆幸、山田紀夫
- B 3-6 2段分注メタン発酵方式の処理性能について
(株)タクマ 中西英夫、藤田雅人、坂上正美
- B 3-7 高濃度二段共発酵による、油脂系廃棄物の高速メタン発酵処理システム
アタカ工業(株) 山下耕司、李 玉友、関 廣二
- B 4 コンポスト 【10月31日(水) 第4会場 10:00-11:45】
座長 岩淵和則(宇都宮大学), 松田従三(北海道大学)
- P1 B 4-1 リンゴ搾り粕の堆肥化における副資材の影響
弘前大学 青山正和、板垣美香子
- B 4-2 ロータリーミキシング方式による新型コンポスト化処理装置の開発
(株)日本製鋼所 尾辻幸枝、小松雄二、永井達夫
- B 4-3 土壌菌より選抜培養した超好熱菌による効率的コンポスト化減量法
- 特に焼却場収集可燃ゴミおよび使用済み紙おむつの大量処理 -
もとぶ野毛病院附属超好熱菌研究所 上田裕一
- B 4-4 生分解性プラスチックの添加がコンポスト化過程のアンモニア発生量に与える影響
静岡大学 中崎清彦、松浦治騎、村越弘友紀
- B 4-5 高温コンポスト化過程における微生物叢遷移の解析
静岡大学 中崎清彦、江口章子、鈴木洋和
- B 4-6 材料pHがコンポスト化反応速度に及ぼす影響
宇都宮大学 岩淵和則、池田喜雄
- P2 B 4-7 コンポスト化反応のシミュレーション
山梨大学 金子栄廣
- B 4-8 コンポスト化の省エネルギー化に関する試み
筑波大学 佐藤圭介、木村俊範
- P1 B 4-9 ロータリーミキシング方式コンポスト化処理装置による下水汚泥の処理
(株)日本製鋼所 尾辻幸枝、小松雄二、永井達夫
- B 4-10 コンポスト化による生分解性プラスチック製品の分解性評価 - ポリ乳酸製品の簡易評価法 -
筑波大学 石田頼子、木村俊範
- B 5 微生物利用資源化 【11月1日(木) 第4会場 9:30-11:15】
座長 井上高一(三洋電機(株)), 羽賀清典(農業技術研究機構畜産草地研究所)
- B 5-1 固体培養同時糖化発酵法による汚泥からの高濃度L-乳酸生成
静岡大学 中崎清彦、福井宏樹、小田正宗

- B 5-2 混合酵素群によるクルミ殻からのD-キシロース生産
岐阜大学 趙 昶浩、発 正浩、高見澤一裕
- B 5-3 高温好気汚泥発酵におけるモデル解析による適正水分含量の評価
茨城県科学技術振興事業団 楊 瑜芳 国立環境研究所 稲盛悠平 京都大学 内藤正明
- B 5-4 廃棄物焼却飛灰からの金属のバイオリーチングの促進に関する検討
国立環境研究所 石垣智基 大阪大学 中西亜加音、藤田正憲
- B 5-5 白色腐朽菌を用いたモルト粕の資源化に関する検討
東京大学生産技術研究所 迫田章義、藤井隆夫、井原之偉
- B 5-6 古紙を用いた下水の高度処理システム
NKK 藤原茂樹、局 俊明、仲原啓介
- B 5-7 投棄魚等の発酵処理による高付加価値飼料化の技術開発
(株)本微生物研究所 大村省吾、牧 孝昭 (株)拓水 尾崎孝義
- B 6 プラスチックの資源化 【 10月31日(水) 第6会場 10:00-11:45 】**
座長 関戸知雄(北海道大学), 多賀圭司(住友金属工業株)
- B 6-1 可燃ごみ再資源燃料化技術開発における実証運転条件最適化検討
川崎重工業株 宮下卓也、笹倉正晴、柴田泰典
- B 6-2 建築系混合廃棄物中の廃プラスチック再資源化のための基礎調査
(社)プラスチック処理促進協会 浅野精一 呉羽化学工業株 小沼 忠 (株)循環社会研究所 澤石直史
- B 6-3 希薄溶剤混合水による発泡スチロールの減容特性
金沢大学 徳野剛史、汲田幹夫 テラ(株) 八十田豊志
- B 6-4 廃プラスチック熱分解油化プロセスの開発
三菱重工業株 野口 仁、佐藤繁博、甘利 猛
- B 6-5 エアテーブルによる廃プラスチック乾式分離技術の開発
NKK 宮澤智宏、清水 浩、山崎茂樹
- B 6-6 リサイクルゴム材料による防振特性
東京工業大学 白波瀬朋子 (株)フコク 小川幹仁 (財)鉄道総合技術研究所 御船直人
- B 6-7 使用済み自動車シートの再資源化 - 高齢者福祉のための椅子類の作製 -
香川県立医療短期大学 獅々堀彊
- B 7 炭化処理などの資源化 【 11月2日(金) 第4会場 9:30-11:30 】**
座長 貫上佳則(大阪市立大学), 松田 智(静岡大学)
- B 7-1 取水路清掃員からの高品位消石灰製造
東京電力(株) 阿久津信男 石川島播磨重工業株 荒巻 博、西野順也
- B 7-2 廃フェノール樹脂と雑誌古紙で調整した炭素系パネルの曲げ特性と微細構造
東京都立産業技術研究所 瓦田研介、飯田孝彦 東京農工大学 岡山隆之
- B 7-3 有機性資源の炭化による新資材化技術の開発
(株)東芝電力システム社 安村恵二朗、柴崎和夫 農業工学研究所 凌 祥之
- B 7-4 再資源炭の温度条件による性状の変化
農業工学研究所 凌 祥之、山岡 賢、齋藤孝則
- P2 B 7-5 炭化炉システムについて
三菱重工業株 仙波範明、甘利 猛、荒岡 衛
- B 7-6 DXN 類を発生する木質系廃材料を原料とする活性炭化物の工業化
(株)シーコン 原田千勝
- B 7-7 食品系未利用資源からのセラミックス成形助剤の作製
(株)INAX 森本和花 名古屋工業技術研究所 都築明博 徳島文理大学 松本 仁
- B 7-8 HF水溶液を用いた水熱処理による窒化ケイ素焼結体のリサイクル
名古屋大学 神谷壯宏、笹井 亮、伊藤秀章
- B 7-9 動・植物性産業廃棄物の地域循環資源化システムに関する研究
宮崎大学 淵上 勲、増田純雄 鹿児島工業高等専門学校 山内正仁
- P1 B 7-10 真空加熱分離(VTR)法による二次電池のリサイクル
ゼロ・ジャパン(株) 高橋康之、大林宏至 東京農工大学 細見正明
- B 8 建設廃棄物の資源化 【 11月2日(金) 第3会場 9:30-11:15 】**
座長 鈴木繁樹((財)産業廃棄物処理事業振興財団), 若林秀樹(鹿島建設株)
- P2 B 8-1 建設廃棄物の発生実態に関する日欧比較の試み
国立環境研究所 寺園 淳、橋本征二、森口祐一
- B 8-2 北海道の木造住宅における木材使用量調査と解体廃木材の発生量予測
北海道立林産試験場 清野新一

- B 8-3 水熱固化法による建設汚泥の機能材料化
(財)科学技術交流財団 笈田幹弘 (株)I N A X 前浪洋輝、井須紀文
- B 8-4 建設汚泥を用いた細骨材の設計
大阪府立大学 山内慎二郎、寺下敬次郎 (株)竹中工務店 両角昌公
- P1 B 8-5 破碎選別施設から排出される残土中有機物の削減
埼玉県環境科学国際センター 渡辺洋一、小野雄策 東京農工大学 細見正明
- B 8-6 戻りコンクリートを再利用したポンプ圧送用先送りモルタルの製造およびポンプ圧送実験
(株)内山アドバンス 飯生昌之、奈良禧徳 ものつくり大学 中田善久
- B 8-7 戻りコンクリートのポンプ圧送用先送りモルタルへの再利用方法の提案
(株)内山アドバンス 奈良禧徳 山宗化学(株) 高野 肇 ものつくり大学 中田善久
- B 8-8 大規模公園におけるゼロ・エミッション型処理施設に関する一考察
国際航業(株) 小指英雄 (財)廃棄物研究財団 横山勝郎
- B 8-9 ガラスの再資源化 - 発泡廃ガラス材を用いた屋上緑化 -
日本建設技術(株) 原 裕 佐賀大学 鬼塚克忠 日本建設技術(株) 佐藤磨美

B 9 焼却灰の資源化(1) 【 10月31日(水) 第6会場 13:00-15:00 】

座長 今岡 務(広島工業大学), 小野雄策(埼玉県環境科学国際センター)

- B 9-1 焼却残渣リサイクル技術(ハイセメント)の研究・開発
大阪市 中島 晃 (株)タクマ 西垣正秀、松本裕幸
- B 9-2 下水汚泥焼結骨材のモルタル用骨材への適用調査
愛知県建設技術研究所 宮川作次、服部春海
- B 9-3 粒度調整した処理焼却灰の力学的特性に関する研究
栗田工業(株) 平尾孝典 九州大学 島岡隆行 福岡大学 花嶋正孝
- B 9-4 焼却飛灰焼成骨材を用いた環境保全型護岸ブロックの試作と評価
住友金属鉱山(株) 坂本雄三、友田勝博 (株)野田ブロック工業 野田和孝
- B 9-5 一般廃棄物焼却残渣の有効利用
福岡大学 榎藤清路、佐藤研一 九州大学 島岡隆行
- B 9-6 気泡混合処理した廃棄物熱処理残渣の土質力学特性に関する研究
福岡大学 本村明教、佐藤研一 九州大学 島岡隆行
- B 9-7 ミミズを利用した産業廃棄物(石炭灰)処理の試み
北海道大学 高橋鮎子、春木雅寛、藤原充志
- B 9-6 石炭灰を有効利用した人工湧昇流漁場の開発
東和科学(株) 友田啓二郎 (株)間組 鈴木達雄 東京大学 高橋正征

B 1 0 焼却灰の資源化(2) 【 10月31日(水) 第6会場 15:15-17:00 】

座長 遠藤茂寿(産業技術総合研究所), 萱沼広行(静岡県静岡工業技術センター)

- B 10-1 ごみ溶融スラグ微粉末を用いた建設汚泥のリサイクルに関する実験的検討
宮城県農業短期大学 北辻政文 オデッサテクノス(株) 三浦誠司、大内 仁
- B 10-2 焼成法による焼却飛灰の無害化・骨材化技術開発
住友金属鉱山(株) 松野基次、坂本雄三、友田勝博
- B 10-3 重油系燃焼灰からバナジウムおよびニッケルを回収するプロセス
産業技術総合研究所 六川暢了
- B 10-4 R D F 燃焼灰の水和反応による有効利用技術の研究
川崎重工業(株) 柴田泰典、村岡利紀 電源開発(株) 藤田昌雄
- B 10-5 溶媒抽出法による溶融飛灰からの重金属回収に関する研究
京都大学 河合利幸、高岡昌輝、武田信生
- B 10-6 都市ごみ焼却飛灰を用いた骨材の化学組成と強度
住友金属鉱山(株) 川本孝次、友田勝博、高橋純一
- B 10-7 都市ごみ焼却飛灰を原料としたセメントからの含有重金属の溶出特性
大阪市立大学 島 貴富、貫上佳則、山田 優
- P2 B 10-8 データベースを用いた都市ごみ焼却主灰から鉛の溶出特性解析
(株)エム・イー・シーエンジニアリング 鄭 承美 国立環境研究所 大迫政浩、金 容珍

B 1 1 溶融スラグの資源化(1) 【 11月1日(木) 第6会場 9:30-11:15 】

座長 大迫政浩(国立環境研究所), 浜辺孝平(日立造船(株))

- B 11-1 ごみ焼却灰溶融スラグのコンクリート用細骨材としての利用
川崎重工業(株) 谷山教幸、柴田泰典 (株)内山アドバンス 斉藤丈士
- B 11-2 溶融スラグを粗骨材に用いたコンクリートのポンプ圧送性の検討
(株)内山アドバンス 斉藤丈士、奈良禧徳 月島機械(株) 望月 淳

- B 11-3 溶融パウダーと溶融スラグを細骨材に用いたコンクリートの特性
中外炉工業(株) 白田淳一 (株)間組 佐々木肇、喜多達夫
- B 11-4 溶融スラグの道路用路盤材長期利用試験
横浜市 増田俊男、玉 信一 NKK 明石哲夫
- B 11-5 下水汚泥溶融スラグのアスファルト骨材への利用(第3報)
大阪ガス(株) 藤井 岳 (株)大林組 塩田耕三 大林道路(株) 香川保徳
- B 11-6 都市ごみ焼却灰溶融スラグ(結晶化)のコンクリート用粗骨材への適用性について
鹿島建設(株) 岡 和彦、青山和史
- B 11-7 コンクリート製品へのゴミ溶融スラグの利用とその安全性について
昭和コンクリート工業(株) 山岡 紘、荻須雅夫、岡崎一寛
- B 1 2 溶融スラグの資材化(2) 【11月1日(木) 第6会場 13:30-15:15】
座長 占部武生(東京都環境科学研究所), 東條安匡(北海道大学)
- B 12-1 都市ごみ焼却灰溶融スラグを用いたロックウール
NKK 藪田和哉 二チアス(株) 佐々木章 大阪府立大学 池田英男
- B 12-2 焼却灰溶融スラグ再資源化実験について
富士電エンジニア(株) 梅本真鶴 大平洋金属(株) 曾我義貞、山田太郎
- B 12-3 廃棄物発電事業における溶融スラグの再資源化調査の報告
電源開発(株) 開 進一、三宅淳一、井口敬次
- B 12-4 スラグ有効利用促進のための品質管理基本方針試案について
国際航業(株) 楠 幸二、坂井正実
- B 12-5 焼却灰溶融スラグのセラミックス発泡体への利用
日本板硝子(株) 若宮 隆、酒井千尋 日本板硝子環境アメニティ(株) 岡本建久
- B 12-6 焼却灰溶融スラグを用いた大きな体積膨張を有するセラミックス焼結体とその発泡機構
日本板硝子(株) 若宮 隆、野見山邦洋 日本板硝子テクノリサーチ(株) 酒井千尋
- P1 B 12-7 溶融スラグの土木資材利用時の環境影響評価
岐阜保健環境研究所 岡 正人、形見武男、安田 裕
- B 12-8 溶融スラグによる重金属イオンの除去について(第2報)
栃木県保健環境センター 藤田幸生、藤平慶志 栃木県窯業指導所 見目誠造
- C 1 燃焼技術(1) 【11月1日(木) 第2会場 9:30-11:15】
座長 神谷秀博(東京農工大学), 寺嶋 均((社)全国都市清掃会議)
- C 1-1 ステレオ画像を用いた都市ごみ焼却炉におけるごみ供給量の予測
京都大学 伊藤大輔、藤原健史、武田信生
- C 1-2 大型ごみ焼却プラント運転訓練シミュレータにおけるVRの適用
川崎重工業(株) 宮本裕一、林 正人、竹本欽也
- C 1-3 半乾留・負圧燃焼方式の燃焼理論と応用
(株)前島工業所 前島 孝
- C 1-4 廃棄物高温空気燃焼に関する実験的研究
NKK 鈴木 実、立福輝生、能登 隆
- C 1-5 下水汚泥焼却への循環流動炉の適用
三菱重工業(株) 笹谷史郎、逸見真知、本多裕姫
- C 1-6 並行流燃焼技術の適用による実機運転状況
川崎重工業(株) 菊池昭二美、金岡秀幸、橋本隆雄
- C 1-7 内部循環流動床実証プラントの運転特性
川崎重工業(株) 松下康樹、柏原賢一、岡田善嗣
- C 2 燃焼技術(2) 【11月1日(木) 第2会場 13:30-15:15】
座長 白子定治(東京都環境科学研究所), 堤 敦司(東京大学)
- C 2-1 『平成12年度廃棄物学会有功賞』受賞者講演
高耐食性材料のR&Dによる廃棄物エネルギー利用の効率化推進 - 一材料屋からみた廃棄物処理プラント環境 -
東京都立大学 吉葉正行
- C 2-2 ストーカ式ごみ焼却炉の燃焼シミュレーション
川崎重工業(株) 上岡 晋、宮本裕一、森 芳信
- C 2-3 減温塔内部の熱流動解析の検証
三井造船(株) 藤田誠三、杉本富男、川村知格
- P1 C 2-4 廃棄物高温空気燃焼に関する数値計算
NKK 鈴木 実
- C 2-5 ごみ焼却炉ボイラ水冷壁保護用耐火タイルの実機適用報告
三菱重工業(株) 佐伯健太郎、小瀬公利、井上敬太

- C 2-6 廃棄物ガス化用高温熱交換器の開発
東京工業大学 蟬谷健一、吉川邦夫 東洋ラジエーター(株) 中野公昭
- C 2-7 廃棄物ガス化発電用低カロリーガス駆動エンジンの燃焼特性に関する研究
東京工業大学 別宮光洋、吉川邦夫 三菱重工業(株) 遠藤浩之
- C 2-8 ガス化溶融炉における過熱器管材質の高温腐食ラボテスト
住友重機械工業(株) 山岡敏浩、太田 彰、河上 勇
- C 3 燃焼排ガス 【 10月31日(水) 第2会場 10:00-11:45 】
座長 藤澤能成(NKK), 松田仁樹(名古屋大学)
- C 3-1 都市ごみ焼却施設における塩化水素自動計測器の特性評価
東京都環境科学研究所 谷川 昇、及川 智
- C 3-2 新乾式排ガス処理システムによる酸性ガス除去技術
(株)タクマ 倉田昌明、鮫島良二、篠田高明
- C 3-3 消石灰のSO₂ガスとの反応性に対する粉体物性の影響
奥多摩工業(株) 石原正行、山下一夫、小松政美
- C 3-4 ホタテガイ廃棄物焼却処理において放出されるカドミウムの鉱物粒子による捕捉
岐阜大学 橋本雄貴、義家 亮、守富 寛
- C 3-5 循環流動層炉における炉内脱硫特性
(株)クボタ 田崎光雄、横田 修、高角章夫
- P2 C 3-6 建設廃木材の焼却生成物質(第1報)
埼玉県環境科学国際センター 倉田泰人、小野雄作、河村清史
- C 3-7 都市ごみ焼却排ガスのマイクロトックス試験による急性毒性
神奈川県環境科学センター 吉野秀吉
- C 3-8 ごみ焼却排ガス中のHCl回収技術の開発
(株)タクマ 太田智久 大阪市 中島 晃、松田忠芳
- C 4 ダイオキシン吸着・分解 【 11月1日(木) 第1会場 9:30-11:30 】
座長 持田武信((財)日本環境衛生センター), 安田憲二(神奈川県)
- C 4-1 活性炭吸着塔によるダイオキシン除去
(株)神戸製鋼所 青木 勇、北村竜介、高橋 円
- C 4-2 活性炭移動層吸着塔を用いたRDF燃焼排ガスのダイオキシン類除去特性について
電源開発(株) 吉田 孝、野口嘉一、椎屋光昭
- C 4-3 廃木材からの活性炭製造とダイオキシン吸着システム
エヌケーケー総合設計(株) 山岸三樹、相沢和夫 NKK 浜口敬三
- C 4-4 無機系吸着剤による排ガス中のダイオキシン除去
(株)新日化環境エンジニアリング 石内啓一、黒崎一晃 西華産業(株) 高木靖宣
- C 4-5 半・難揮発性有機ハロゲン(SNVOXs)によるハロンの焼却分解技術の評価
横浜国立大学 三宅祐一、加藤みか、浦野紘平
- C 4-6 焼却炉排ガス中のダイオキシン類の直接分解方式の研究開発
三菱電機(株) 藤原通雄、山元 寛
- P1 C 4-7 複合型高温酸性ガス固定化剤による塩化水素除去とダイオキシン抑制
東洋電化工業(株) 山崎富夫、山下芳孝 産業技術総合研究所 鈴木憲司
- C 4-8 ダイオキシン生成防止剤による排ガスおよび集じん灰中のダイオキシン類の低減
栗田工業(株) 藤吉直明、宮田博司、内田敏仁
- C 4-9 ハイドログロシュラーの高温HCl固定化性能と燃焼触媒機能
産業技術総合研究所 鈴木憲司、芝崎靖雄 高温酸性ガス固定化技術研究組合 藤田 悟
- P2 C 4-10 ダイオキシン類高温燃焼触媒分解・除去技術の実用化試験
新興プランテック(株) 新宮宏昭 名古屋工業大学 藤田 悟 産業技術総合研究所 鈴木憲司
- C 5 ダイオキシン脱塩素・分解 【 11月1日(木) 第1会場 13:30-15:15 】
座長 浦瀬太郎(東京工業大学), 高岡昌輝(京都大学)
- P1 C 5-1 担持パラジウム触媒によるダイオキシン類の脱塩素処理
産業技術総合研究所 浮須裕二、宮寺達雄
- C 5-2 飛灰中のダイオキシン類の揮発脱離分解プロセスへの攪拌流動層加熱器の適用
NKK 塩満 徹、明石哲夫 川崎市公害研究所 川村和弘
- C 5-3 Uターン型回転炉を用いた飛灰中のダイオキシン類分解
(株)タクマ 増田孝弘、角田芳忠 (株)チサキ 國井大蔵
- P2 C 5-4 ダイオキシン類の非加熱分解処理の検討～飛灰における基礎・実証試験～
三浦工業(株) 高橋知史、大内宗城、本田克久

- C 5-5 縦型加熱脱塩素化装置の開発
三機工業(株) 安田宣夫、宮田治男 群馬大学 宝田恭之
- C 5-6 加熱脱塩素化法による飛灰のダイオキシン類削減
(株)荏原製作所 金子充良、中口郁雄、黒田正弘
- C 5-7 E P 後排ガスでの触媒によるダイオキシン類分解除去
(株)日本触媒 森田 敦、杉島 昇、小林基伸
- C 5-8 排ガス中ダイオキシン類およびその他芳香族化合物の触媒分解特性
三井造船(株) 稲葉利晴、神田伸靖、板谷真積
- C 5-9 廃棄物焼却飛灰上でダイオキシン類縁物質の生成・分解反応の解析
横浜国立大学 遠藤雅樹、加藤みか、浦野紘平
- C 6 ダイオキシン生成 【10月31日(水) 第1会場 10:00-12:00】
座長 長田守弘(新日本製鐵(株))、西谷隆司(大阪市立環境科学研究所)
- C 6-1 ダイオキシン類平衡計算モデルの検討
NKK 木ノ下誠二、塩満 徹、藤澤能成
- C 6-2 都市ごみ焼却飛灰中の未燃炭素からの PCDDs/PCDFs 生成
日立造船(株) 古林通孝、篠原力男、長井健一
- C 6-3 粒径別分画飛灰における芳香族塩素化合物の生成機構に関する一考察
京都大学(現 新日本製鐵(株)) 谷垣信宏 京都大学 高岡昌輝、武田信生
- C 6-4 グラファイトと金属塩素化合物の複合状態がダイオキシン類生成に与える影響
東北大学 葛原俊介、葛西栄輝、中村 崇
- C 6-5 都市ごみ焼却炉飛灰のダイオキシン類生成能
関東学院大学 鈴木和将、川本克也 三井造船(株) 神田伸靖
- P1 C 6-6 模擬ゴミ燃焼に伴うダイオキシン類の生成機構
産業技術総合研究所 畑中健志、北島暁雄、竹内正雄
- C 6-7 塩素含有廃棄物の燃焼過程におけるダイオキシン類排出
京都大学 高月 紘、大西康史 国立環境研究所 酒井伸一
- C 6-8 ごみ焼却炉におけるダイオキシン類抑制に関する基礎検討
川崎重工業(株) 谷川貴仁、洲河誠一、岡島重伸
- C 6-9 天然ガスリバーニングによるごみ焼却炉からのダイオキシン類の抑制
東京ガス(株) 武谷 亮 川崎重工業(株) 菊池昭二美 小平・村山・大和衛生組合 村野盛雄
- C 7 ダイオキシン 生成・排出 【10月31日(水) 第1会場 13:00-15:00】
座長 石川龍一(株)荏原製作所)、川本克也(関東学院大学)
- C 7-1 飛灰上での芳香族塩素化合物の生成に対する塩基性物質の添加効果
京都大学 佐々木崇、高岡昌輝、武田信生
- C 7-2 R D F の流動床燃焼における有害成分排出特性(その5)
立命館大学 加倉田一晃、石橋憲明、岡島重伸
- P2 C 7-3 R D F の流動床燃焼における有害成分排出特性(その6)
立命館大学 石橋憲明、加倉田一晃、岡島重伸
- C 7-4 排ガス処理過程における DXN の挙動と未燃炭素の関係
東京都環境科学研究所 古角雅行
- P1 C 7-5 排ガス処理過程における DXN の挙動と未燃炭素の関係～炭素材性状の影響に関する研究～
東京都環境科学研究所 古角雅行 (株)クボタ 釜田陽介
- P2 C 7-6 排ガス処理過程における DXN の挙動と未燃炭素の関係～炭素の燃焼特性に関する研究～
東京都環境科学研究所 古角雅行 (株)クボタ 上林史朗、倉田雅人
- C 7-7 産業廃棄物焼却施設から排出されるダイオキシン類の特性
大阪市立環境科学研究所 酒井 護、西谷隆司、福山丈二
- P1 C 7-8 焼却施設集積地域におけるダイオキシン類汚染
関東学院大学 川本克也、鈴木和将
- C 7-9 燃焼系発生源におけるダイオキシン類の同族体・異性体組成に関する研究
立命館大学 天野耕二、孝忠大輔
- C 7-10 実証施設(ガス化溶融炉)におけるダイオキシン類、多環芳香族炭化水素類の挙動
住友重機械工業(株) 藤田健司、河上 勇 国立環境研究所 池口 孝
- C 7-11 ダイオキシン類削減型小型焼却炉の開発 ダイオキシン類一貫管理システム
愛媛大学 山下正純、脇本忠明 三浦工業(株) 本田克久
- C 7-12 高温排ガス煙突排出後のダイオキシン類生成は皆無
環境保全工学研究所 福本 勤
- P2 C 7-13 小型廃棄物焼却炉からのダイオキシン類排出状況
(財)日本環境衛生センター 河邊安男、増田直美、金子昌示

- P1 C 7-14 焼却炉解体時の作業環境について
呉羽環境株 福田弘之、渡邊邦男、諸野哲夫
- C 8 ダイオキシン測定・分析 【10月31日(水) 第1会場 15:15-17:00】
座長 高菅卓三(株島津テクノロジー), 宮田秀明(摂南大学)
- P2 C 8-1 "バリアー放電ラジオ波ヘリウムプラズマを検出器とした揮発性F, Cl, Br およびIの測定"
大阪市立環境科学研究所 渡辺信久、井上三郎、福山丈二
- C 8-2 ダイオキシン前駆体自動分析計によるクロロベンゼン類の代替指標性評価
岡山大学 田中 勝 (財)日本環境衛生センター 藤吉秀昭 NKK 永野英樹
- C 8-3 同一焼却炉における排ガス中TOXの測定と評価
関東学院大学 川本克也、今泉隆志 岡山大学 田中 勝
- P1 C 8-4 クロロベンゼンおよびダイオキシンの高速測定技術の開発
株日立製作所 山田益義、橋本雄一郎 株日立ハイテクノロジーズ 阪本将三
- C 8-5 エコセメントパイパス中の極微量ダイオキシン類に対する迅速分析法の適用(その2)
太平洋セメント株 木立明利、平川拓洋、山口 修
- C 8-6 廃棄物焼却炉排ガス中のクロロベンゼン・クロロフェノール類の迅速分析法
東京ガス株 縄野圭一、五味保城、武谷 亮
- P2 C 8-7 窒素気流を用いずにダイオキシン分析試料を迅速且つ高回収率で濃縮するための減圧・遠心濃縮法
株荏原製作所 剣持由起夫、堤かおり、有川章浩
- C 8-8 排ガス中ダイオキシン類採取方法に係る共同研究<実験計画及び実験施設の日間変動>
グリーンブルー株 小野治雄 (社)日本環境測定分析協会 山田修一
ダイオキシン類測定分析技術研究会 橋場常雄
- C 8-9 排ガス中のダイオキシン類採取方法に係る共同研究<JIS法におけるフィルター部温度に関する検討>
株環境管理センター 桑原岳人 (社)日本環境測定分析協会 山田修一
ダイオキシン類測定分析技術研究会 橋場常雄
- P1 C 8-10 排ガス中のダイオキシン類採取方法に係る共同研究<採取装置の材質等による測定精度への影響>
中外テクノス株 内村泰造 (社)日本環境測定分析協会 山田修一
ダイオキシン類測定分析技術研究会 橋場常雄
- P2 C 8-11 排ガス中のダイオキシン類採取方法に係る共同研究<JIS法とEU法の比較>
東邦化研株 祐川英基 (社)日本環境測定分析協会 山田修一
ダイオキシン類測定分析技術研究会 橋場常雄
- C 8-12 焼却炉排ガス中の微量有機塩素化合物の採取・分析法に関する研究
北海道大学(現 日立金属株) 来海和宏 北海道大学 田中信壽、松藤敏彦
- C 9 ガス化溶融 【10月31日(水) 第2会場 13:00-15:00】
座長 古角雅行(東京都環境科学研究所), 藤吉秀昭((財)日本環境衛生センター)
- C 9-1 キルン式熱分解溶融プロセスによるカーシュレッダーダストの処理
三井造船株 宮川 満、杉本富男、板谷松積
- C 9-2 都市ごみガス化溶融システムの開発
住友重機械工業株 江原信夫、阿川隆一、河上 勇
- C 9-3 部分燃焼型熱分解ガス化溶融ごみ処理システムの開発
三菱重工業株 保田静生、堀添浩俊、佐藤 淳
- P1 C 9-4 4筒式外熱キルンの開発
石川島播磨重工業株 茂木幹夫、萩谷宗高、亀井篤志
- C 9-5 直接溶融炉における可燃ダスト羽口吹込み技術の開発
茨木市 小阪良平 新日本製鐵株 芝池秀治、加藤也寸彦
- C 9-6 自己燃焼式内部溶融炉の開発
石川島播磨重工業株 井上里志、成澤道則、中野邦彦
- C 9-7 流動床式熱分解溶融施設の稼働状況
中部上北広域事業組合 木村大丈、浜田靖信 株神戸製鋼所 伊藤 正
- C 9-8 一般廃棄物のガス化溶融処理における熱分解および燃焼挙動に関する研究
長岡技術科学大学 三浦 崇、桃井清至 株中央設計技術研究所 宮腰和忠
- C 9-9 ごみ直接溶融炉のモデリングとシミュレーション
京都大学(現 ヒューレットパカード) 徳岡準人 京都大学 藤原健史、武田信生
- C 10 焼却灰溶融 【10月31日(水) 第2会場 15:15-16:45】
座長 浅田信二(ユニチカ株), 家山一夫(日立造船株)
- C 10-1 固定床廃棄物熱分解炉の炉内反応に関する数値シミュレーション解析
東京工業大学 吉川邦夫、興津世禄 慶應義塾大学 小林宏充

- C 10-2 酸素パーナーによるごみ焼却飛灰溶融試験の概要(第5報) 大同特殊鋼株 志村 進、尾崎 誠、水野正毅
- C 10-3 横浜市環境事業局金沢工場における電気抵抗式灰溶融炉稼働状況 横浜市 富岡 淳、山中信幸 NKK 勝呂洋次
- C 10-4 灰溶融プラントにおける付着形成メカニズムに関する一考察 京都大学 安井一雄、高岡昌輝、武田信生
- C 10-5 焼却灰溶融石材化設備の燃費の改善 月島機械株 金子拓己、望月 淳、青柳健一
- C 10-6 下水汚泥溶融スラグへのリン固定化とその効果 日本下水道事業団 桑子松司 (株)クボタ 尾崎俊也、岩部秀樹
- P2 C 10-7 焼却飛灰の再溶融処理 大阪府立大学 大西忠一、原田浩希、宮武和孝
- C 1 1 焼却灰安定化 【 11月2日(金) 第2会場 9:30-11:15 】
座長 島岡隆行(九州大学), 鈴木憲司(名古屋工業大学)
- C 11-1 産業廃棄物焼却処理における重金属の排出原単位及び分配率の算定 国立環境研究所 井上雄三、梁 鎮宇
- C 11-2 都市ごみ溶融飛灰中の元素分析法に関する研究 NKK 相楽光宏 北海道大学 松藤敏彦、田中信壽
- C 11-3 遠心脱離法による湿潤飛灰からの重金属溶出特性に関する研究 九州大学 島岡隆行 福岡大学 宮脇健太郎 福岡県リサイクル総合研究センター 花嶋正孝
- P1 C 11-4 都市ごみ焼却灰の粒径別溶出試験 東洋大学 大川原武、横井暢男
- C 11-5 RDF焼却灰とその水和固化物からの重金属類溶出特性 福岡県保健環境研究所 鳥羽峰樹、土田大輔、高橋浩司
- C 11-6 都市ごみ焼却模擬飛灰のセメント固化物からの金属類の溶出挙動 京都大学 水谷 聡、竹内和樹、高月 紘
- C 11-7 セメント固化の前処理としての飛灰炭酸化効果の検討 宮崎大学 土手 裕、丸山俊朗
- C 11-8 焼却灰含有鉛の化合物形態解析 NKK 山本 浩、名越正泰 京都大学 高岡昌輝
- P2 C 11-9 X線吸収微細構造(XAFS)による飛灰中の銅、鉛、亜鉛、アンチモンの存在状態の同定 京都大学 高岡昌輝、武田信生、田中庸裕
- D 1 埋立地浸出水 【 10月31日(水) 第5会場 15:15-17:00 】
座長 森下典昭(株)日水コン), 芳倉太郎(大阪市立環境科学研究所)
- D 1-1 『平成12年度廃棄物学会奨励賞』受賞者講演 「都市ごみ焼却残渣の適正処分と有効利用」 国立環境研究所 大迫政浩
- D 1-2 オゾン/UV法によるダイオキシンと環境ホルモンの同時分解挙動 三菱重工業株 大村友章、江草知通、藤瀬和彦
- D 1-3 膜分離活性汚泥法とAOP法による埋立地浸出水中のダイオキシン類の高度処理 ダイキ株 小沼和博、松屋博之 国立環境研究所 稲森悠平
- D 1-4 AOP併用型膜ろ過法によるダイオキシン類の処理 NKK 淵上浩司 福岡大学 松藤康司 (財)廃棄物研究財団 高田光康
- D 1-5 オゾン触媒処理法を用いた浸出水処理 群馬工業高等専門学校 青井 透 前澤工業株 鈴木辰彦、手金浩嗣
- P2 D 1-6 促進酸化法および凝集沈殿法によるダイオキシン類除去 大阪市立環境科学研究所 藤原康博、高倉晃人、酒井 護
- D 1-7 埋立浸出水の促進酸化処理における臭化物イオンの影響 アタカ工業株 船石圭介、宮前博子、上垣内郁夫
- D 1-8 促進酸化法による浸出水RO膜濃縮水中のダイオキシン類分解特性 神鋼パンテック株 小林俊幸、熊野 晋、小林哲男
- D 2 埋立地しゃ水(1) 【 10月31日(水) 第5会場 10:00-12:00 】
座長 真次 寛(福岡市), 八木美雄((財)廃棄物研究財団)
- D 2-1 アスファルトコンクリートで挟まれたしゃ水シートの健全性について
- 施工時および供用時を模擬した室内試験結果 - (株)大林組 柴田健司、石田道彦 大林道路株 原田清貴
- D 2-2 アスファルトコンクリートが遮水シートへ及ぼす影響 協和油化株 細川茂生 大成建設株 押方利郎 大成ロテック株 伊藤隆彦

- D 2-3 廃棄物最終処分場に適用されるアスファルトコンクリートの変形特性
大成建設(株) 押方利郎、海老原正明 大成ロテック(株) 伊藤隆彦
- D 2-4 遮水シートの突き刺し性能
宇都宮大学 今泉繁良 東洋ゴム工業(株) 坪井正行、宮地秀樹
- D 2-5 水膨潤性ゴムによる遮水シート損傷部の修復方法に関するモデル実験
(株)ブリヂストン 小池喜嗣、橋本正和 大成建設(株) 押方利郎
- D 2-6 広範囲薬液浸透注入固化工法による最終処分場の遮水シート補修実験
清水建設(株) 新宮康之、大野文良、宮本武司
- P1 D 2-7 シャ水シート法面保護材の熱劣化低減効果の研究
(株)ジオテックス 井手口義郎、松本修一、古川義政
- D 2-8 各種シャ水シートの長期耐久性
三ツ星ベルト(株) 加納 光、上ノ山悦治
- D 2-9 シャ水シート用耐熱保護剤としての布製型枠工の有効性
旭化成建材(株) 古関功一 旭化成ジオテック(株) 桜井芳紀 三ツ星ベルト(株) 加納 光
- D 3 埋立地シャ水(2) 【10月31日(水) 第5会場 13:00-15:00】
座長 海老原正明(日本大学、大成建設(株))、押方利郎(大成建設(株))
- D 3-1 現場吹き付けウレタンシートと成形シートとの接合性試験
西武建設(株) 成島誠一 (株)田中 村上 豊 三ツ星ベルト(株) 上ノ山悦治
- D 3-2 セメント系固化材と土壌の組合せによる六価クロム溶出量の特徴
鹿島建設(株) 野正 明、間宮 尚、岩本晃敏
- D 3-3 ベントナイト混合土に係わる各種試験と現場品質管理手法の研究
西武建設(株) 三村 卓、成島誠一 (株)ホーゲン 古賀 慎
- P2 D 3-4 寒冷地における三要素複合ライナーの温度・水分特性
(株)ホーゲン 水野克己、徳島博道 (財)地域地盤環境研究所 本郷隆夫
- P1 D 3-5 三要素複合ライナーと自然地盤の凍結における凍上特性比較
(株)ホーゲン 水野克己 (財)地域地盤環境研究所 福田光治、本郷隆夫
- D 3-6 廃棄物処分場における遮水シート損傷による漏水量の評価と粘土ライナーの有用性
京都大学 嘉門雅史、乾 徹、遠藤和人
- D 3-7 油圧ショベル走行によるベントナイト混合土の平面部現場密度特性
(株)ホーゲン 水野克己、水野正之 大成建設(株) 押方利郎
- P2 D 3-8 三要素複合ライナーの構成要素の一つであるジオシンセチック・クレイライナーの遮水性評価
(株)ホーゲン 水野克己、古賀 慎、高橋 聡
- D 3-9 三要素複合ライナーの構成要素であるベントナイト混合土の浸透・収着性評価
(株)ホーゲン 水野克己 (財)地域地盤環境研究所 本郷隆夫、藤原照幸
- D 3-10 最終処分場におけるピオトープ施設を用いた三要素複合ライナーの遮水性評価
(株)ホーゲン 水野克己 (財)地域地盤環境研究所 本郷隆夫、福田光治
- D 3-11 廃棄物最終処分場骨組み膜式建屋滑雪方式の基礎実験
帝人(株) 武内康浩 清水建設(株) 大野文良
- D 4 埋立地安定化 【11月1日(木) 第5場 13:30 -15:30】
座長 井上雄三(国立環境研究所)、高木 泰(応用地質(株))
- D 4-1 埋立廃棄物の直接観察と分析
千葉県環境研究センター 原 雄、堤 克裕、北橋伸一
- D 4-2 海面埋立処分場における処理飛灰の長期安定性について(その2)
福岡大学 宮脇健太郎 九州大学 島岡隆行 福岡県リサイクル総合研究センター 花嶋正孝
- D 4-3 埋立前処理と計画散水による焼却灰の洗浄について
(株)熊谷組 亀山敏治、伊藤 洋、大堀 卓
- D 4-4 クローズドシステム処分場における散水による安定化促進の検討～焼却灰中COD洗い出し条件の考察～
(株)オオバ 志賀光洋 北海道大学 古市 徹、石井一英
- P1 D 4-5 埋立られた都市ごみ焼却灰の安定化過程における成分変化および加熱処理による組成変化
福岡大学 武下俊宏、柳瀬龍二、花嶋正孝
- D 4-6 閉鎖型最終処分場における埋立廃棄物の安定化に関する研究(その3)
(株)フジタ 福島裕三 三井鉱山(株) 森 一樹 福岡大学 柳瀬龍二
- D 4-7 最終処分場における廃止基準の温度の判定に関する一考察
福岡大学 柳瀬龍二、松藤康司、平野文昭
- D 4-8 廃棄物埋立跡地の安定化に関する調査研究() - 閉鎖後の埋立跡地調査事例 -
同志社大学 前田伊瑞実、中川要之助 環境計画センター 鍵谷 司
- D 4-9 廃棄物処分場内での道路建設における対策工法の実施について - 安全および環境保全対策 -
(株)フジタ 瀧 宏史 日本道路公団 砂金克明 (株)フジタ 阪本廣行

D 5 埋立地浸出水の化学物質溶出 【 11月1日(木) 第5会場 9:30-11:15 】

座長 飯田真美(東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合), 貴田晶子(広島県保健環境センター)

- D 5-1 洗浄灰と未洗浄灰からの有機物、無機塩類の溶出調査
福岡大学、資源循環環境制御システム研究所 花嶋正孝
日本技術開発(株) 樋口壮太郎 ユニチカ(株) 三角文彦
- D 5-2 模擬埋立実験における化学物質の溶出挙動
国立環境研究所 安原昭夫 岐阜県保健環境研究所 形見武男 福岡大学 松藤康司
- D 5-3 廃木材木炭による廃棄物埋立処分地浸出余水処理 - 変異原性及び有機物除去特性 -
大阪市立環境科学研究所 芳倉太郎、藤原康博、西尾孝之
- D 5-4 循環式準好気性海面埋立システムにおける浸出水浄化機構
北九州市環境科学研究所 坂寄代志夫、石川精一、大庭俊一
- P2 D 5-5 循環式準好気性埋立システムにおける化学物質の溶出・分解挙動
北九州市環境科学研究所 石川精一、坂寄代志夫、大庭俊一
- D 5-6 浸出水中の細菌計数における希釈平板法適用に関する研究(1)
熊本県立大学 田中麻記子 福岡大学 武下俊宏、花嶋正孝
- P1 D 5-7 廃プラスチックおよびプラスチック系資材からのビスフェノールAの溶出
広島工業大学 今岡 務 菱明技研(株) 保手濱勇聡
- D 5-8 一般都市ゴミ焼却灰の1%および5%濃度混合飼料摂取によるラットの生殖機能に及ぼす影響に関する実験的研究
国立公衆衛生院 市川 勇 国立環境研究所 井上雄三、山田正人
- P2 D 5-9 廃棄物埋立地浸出水中の外因性内分泌かく乱物質に関する研究
北海道大学 朝倉 宏、田中信壽、松藤敏彦
- D 5-10 埋立て処分地浸出水のヒメダカを用いた経日的安全性評価
岡山大学 尾崎夏栄、小野芳朗 Duke Univ. 柏田祥策

D 6 埋立地モニタリング・埋立ガスなど 【 11月2日(金) 第5会場 9:30-11:30 】

座長 金谷 健(滋賀県立大学), 田中綾子(福岡大学)

- P1 D 6-1 最終処分場周辺の堆積粉じんの調査
日本工業大学 佐藤茂夫、中丸陽一
- D 6-2 埋立地表面における地温とメタンフラックスの関係
国立環境研究所 山田正人 埼玉県環境科学国際センター 小野雄策、長森正尚
- D 6-3 廃石膏ボードの埋立による硫化水素の発生
埼玉県環境科学国際センター 小野雄作、河村清史 北海道大学 田中信壽
- D 6-4 安定型処分場搬入廃棄物の硫化水素発生ポテンシャルに関する研究
国立環境研究所 井上雄三、大迫政浩 埼玉県環境科学国際センター 小野雄策
- D 6-5 多種類の廃棄物からなる地層の比抵抗と地下水の性状
千葉県環境研究センター 香村一夫、原 雄、楠田 隆
- D 6-6 ランドフィルシミュレータによる古紙覆土代替材の安定性評価
九州大学 島岡隆行 福岡大学 宮脇健太郎 栗田工業(株) 有賀久道
- D 6-7 処分場の排水管周辺のフィルター材の目詰まり防止と排水性について
八戸工業大学 熊谷浩二 八戸高専 丹野忠幸
- D 6-8 海面および陸上最終処分場比較のLCI分析およびコスト評価
国立環境研究所 井上雄三、山田正人 (株)富士総合研究所 廣崎 淳
- P2 D 6-9 海面および陸上最終処分場のリスクに関するアンケート調査
国立環境研究所 井上雄三、山田正人 (株)富士総合研究所 山辺功二
- D 6-10 廃棄物最終処分場再生システム実証実験
大成建設(株) 樋口雄一、臼井直人、押方利郎

E 1 PCB・ダイオキシン処理 【 11月2日(金) 第1会場 9:30-11:30 】

座長 惣田昱夫(神奈川県環境科学センター), 野馬幸生(国立環境研究所)

- P1 E 1-1 廃棄物からのPCBの溶出性について
国立環境研究所 野馬幸夫
- E 1-2 BCD法によるPCBの脱塩素化機構の研究
(株)荏原製作所 戸田久之、高田 誠
- E 1-3 トランス油中PCBの脱塩素化処理
木村化工機(株) 宮本佳紀、浦上昌也、池田博史
- E 1-4 水中PCBsの光化学分解メカニズムの解明
(株)クボタ 南 宏和、堀井安雄 摂南大学 宮田秀明
- E 1-5 アルカリ性エチレングリコール法による飛灰中のダイオキシン類除去技術の開発(第一報)
ユニチカ(株) 井上 卓、長澤松太郎

- E 1-6 超臨界水酸化による焼却飛灰中のダイオキシンの分解・無害化
長崎菱電テクニカ(株) 岡島いづみ、川尻 聡 静岡大学 佐古 猛
- E 1-7 固形状物質中のダイオキシン類の加熱還元分解特性
神鋼パンテック(株) 児島 大、小林哲男、牛越健一
- E 1-8 白色腐朽菌によるダイオキシン類の分解と系統学的分類
エヌエス環境(株) 小野寺明 (有)微創研 水海吉太郎 九州大学 近藤隆一郎
- P2 E 1-9 分離菌株によるダイオキシン類の分解特性
神奈川県環境科学センター 惣田昱夫 北海道大学 古市 徹、石井一英
- E 1-10 ダイオキシン類汚染土壌の微生物分解に及ぼす影響要因に関する実験的考察
~Acremonium sp.による微生物分解特性~
北海道大学 高橋正典、中宮邦近、古市 徹
- E 2 土壌・地下水汚染 【10月31日(水) 第3会場 13:00-15:00】
座長 土弘道夫(鹿島建設(株)), 土手 裕(宮崎大学)
- E 2-1 DMI法によるダイオキシン類汚染土壌の無害化技術の開発
川崎重工業(株) 上岡 晋、岡島重伸、菅田雅裕
- E 2-2 ヒ素汚染土壌の特性と洗浄処理および安定化処理に関する検討
(株)鴻池組 大山 将、小山 孝
- E 2-3 水と摩砕処理による重油汚染土壌の浄化について
(株)熊谷組 伊藤 洋、川口謙治、門倉伸行
- E 2-4 土壌中の有機塩素系殺菌剤の処理試験
(株)注原製作所 柏木誠司、戸田久之、高田 誠
- E 2-5 エタノール洗浄 - 紫外線処理による PCDD/Fs 汚染土壌の浄化
東京農工大学 李 炳大 (株)タクマ 三嶋弘次 東京農工大学 細見正明
- P1 E 2-6 ダイオキシン類汚染地における土壌間隙水用電導度計による簡易調査手法
埼玉県環境科学国際センター 長森正尚、小野雄策、杉崎三男
- P2 E 2-7 土壌・地下水汚染調査における地形・地質構造のモデル化手法と予測修復への適用
群馬県 石井邦幸 北海道大学 古市 徹、石井一英
- E 2-8 数値シミュレーションを用いた感度解析による汚染現場のモデル化の検討
北海道大学 南部 稔、古市 徹、石井一英
- P1 E 2-9 汚染診断修復システムにおける GIS による総合データ管理システムの活用
東和科学(株) 森下兼年 (株)建設技術研究所 和田卓也 北海道大学 古市 徹
- P2 E 2-10 土壌・地下水汚染の修復技術選択フローのケーススタディ
北海道大学 古市 徹 (株)大林組 小谷克己 (株)クボタ 鈴木隆弘
- E 2-11 ダイオキシン類汚染池水の環境修復に関する事例報告
(株)クボタ 堀井安雄、佐々木智彦、長谷川哲宏
- E 2-12 琵琶湖及び大阪湾底質中ヘキサクロロベンゼンの歴史トレンド
京都大学 高月 紘 国立環境研究所 酒井伸一 京都大学 岡本きょうこ
- E 3 有害性試験 【10月31日(水) 第3会場 15:15-16:45】
座長 山田正人(国立環境研究所), 渡辺信久(大阪市立環境科学研究所)
- E 3-1 『平成12年度廃棄物学会論文賞』受賞者講演 「廃棄物試料のバイオテスト評価法 - 内分泌攪乱や遺伝子毒性」
岡山大学 小野芳朗、(現 水道機工)青井健太郎、(現 サンエー設計)加納佐江子
- E 3-2 欧州規格 prEN12457 の試験法について
INSA - Lyon 田野崎隆雄、キャロル・ゲグネール、ジャック・メウ
- E 3-3 油汚染土壌中の油分含有量の測定に関する検討
(株)鴻池組 小山 孝、大山 将
- P1 E 3-4 疎水性有機汚染物質の溶出試験における誤差誘発因子に関する検討(1)
国立環境研究所 金 容珍、大迫政浩
- E 3-5 固体粒子による溶出溶液の水素イオン濃度変化
東京都環境科学研究所 白子定治、池田数宏 東京二十三区一部事務組合 曾山昭明
- P2 E 3-6 埋立処分場内で接触する液の種類と濃度が廃棄物からの有害金属類の溶出量に及ぼす影響
国立環境研究所 田崎智宏 横浜国立大学 浦野紘平
- E 3-7 焼却灰中重金属の溶出ポテンシャルに及ぼすイオン強度の影響
岡山大学 山田亜矢、小野芳朗 セイコーインスツルメンツ(株) 並木健二
- E 3-8 都市ごみ焼却飛灰の金属類の粒径分布と溶出試験の試料粒径について
京都大学 水谷 聡、高月 紘 国立環境研究所 酒井伸一

- E 4 有害廃棄物処理技術 【 11月1日(木) 第7会場 9:30-11:15 】
座長 水谷 聡(京都大学), 吉野秀吉(神奈川県環境科学センター)
- P1 E 4-1 ルアーフィッシング用プラスチック擬似餌からの可塑剤の溶出
東京水産大学 兼廣春之、 瀬尾亮平、 栗山雄司
- E 4-2 異性体分布から見たポリ塩化ビフェニル(PCBs)発生源に関する考察
京都大学 早川健一、 谷 治毅、 高月 紘
- E 4-3 高アルカリ溶融飛灰の処理システムの検討
栗田工業(株) 松本克美 新東工業(株) 高田 満 九州大学 島岡隆行
- E 4-4 PCB 無害化処理施設における HAZOP と FMEA の有効性比較の研究
東芝エンジニアリング(株) 米木真哉 (株)東芝 渡辺敦雄
- E 4-5 Acremonium sp.からのダイオキシン分解酵素の精製及び諸性質の検討
北海道大学 宇都宮毅、 中宮邦近、 古市 徹
- E 4-6 好熱菌 Dioxin dioxygenase と Dihydroxybiphenyl dioxygenase の検索
東京慈恵会医科大学 保科定頼 北海道大学 古市 徹 東和科学(株) 郷田浩志
- P2 E 4-7 衝撃圧縮による有害有機化合物分解処理技術に関する可視化実験
名古屋大学 遠藤琢磨、 長谷川友昭、 小西 崇
- E 4-8 河床に堆積した砒素を含有する沈降汚泥の処理
東洋建設(株) 田中敦之、 上田悦子
- E 4-9 白色腐朽菌を活用した開放型バイオリアクターによるし尿処理水の脱色実証実験
(株)タクマ 芹澤佳代、 平尾知彦、 福里 豊
- F 1 Waste Management Planning, Waste Reduction and Recycling
【 Thursday, November 1, 2001 Room 6, Yokohama Kaikou Kinen Kaikan 9:15-10:30 】
- F 1-1 Japanese Legislative System toward Recycling-Oriented Society
Isamu YOKOTA, University of Shizuoka
- F 1-2 Current Situation and Future Strategy on Medical Waste Disposal in Cambodia
Haruo MATSUMURA, Japan Industrial Waste Technology Center
- F 1-3 Recycling of oil containing Hot Rolling Mill(HRM) sludge by Direct Reduced Iron(DRI) method
Jin-won PARK, Joon Su AHN, Kwinam PARK, Yonsei University
- F 1-4 Development of the dry washing device for the electrostatic waste plastics separator
Syogo HAMADA, Tetsuya INOUE, Masanori TSUKAHARA, Hitachi Zosen Co.,Ltd
- F 1-5 Water faucets and soft drinks can vending machines on platform of train station
Akio ITO
- F 2 Landfill, Leachate Treatment, Composting
【 Thursday, November 1, 2001 Room 6, Yokohama Kaikou Kinen Kaikan 10:40 -11:55 】
- F 2-1 A case study: the evaluation for the stability of The Nanji landfill
Won-Young LEE, Jai-Young LEE, The University of Seoul
- F 2-2 A Study on the Hydraulic Characteristics of Soil-bentonite Mixtures Permeated with Humic Substances of Leachate in the Landfill
Young-Soo HAN, Jai-Young LEE, Han-Yong JEON, The University of Seoul
- F 2-3 Measurement of In-situ Density of Buried Waste at Three Landfill Sites
Yuichi HIGUCHI, Taisei Corporation
- F 2-4 A Study on the Formation of Permeable Reactive Barrier treated with Biofilm
Dong-Hee LIM, Jai-Young LEE, The University of Seoul
- F 2-5 Evaluation of High-rate Composting using the Monitoring Data of Exhaust Gas Condensate
Sung-Hwan KWON, Seong-Rim LEE, Dong-Hoon LEE, The University of Seoul
- F 3 Dioxins, Incineration and Pyrolysis
【 Thursday, November 1, 2001 Room 6, Yokohama Kaikou Kinen Kaikan 12:30-14:00 】
- F 3-1 A Study on the Solubility and Leachability of 2,3,7,8-substituted PCDDs/DFs
Sang-ye HAM, Jae-Hyo LEE, Dong-Hoon LEE, The University of Seoul

- F 3-2 Combustion Characteristics of RDF and Plastics using Circulating Fluidized Bed
Hirohiko TOKUNAGA, Ryutaro FUKUNAGA, Kenji KAKEDA, Hitachi Zosen Co.,Ltd
- F 3-3 Gasification and Power Generation from Solid Wastes using High temperature Air & Steam
Taijin MIN, Kenichi SEMITANI, Kunio YOSHIKAWA, Tokyo Institute of Technology
- F 3-4 Authorized Check-Up of MSW Incineration Plant in Japan
Nobutake SATO, Japan Environmental Sanitation Center
- F 3-5 Chemical and Thermal Characteristics of Sewage Sludge in accordance with Sewage Treatment System
Sang-Bo LEE, Bong-Joo KANG, Sung-Keun BAE, Changwon National University
- F 3-6 Efficiency of Memory Effects in the High Temperature/Cooling Section of a MSW Incinerator by correlation of PCDD/F and CO Values
Roland WEBER, Takeshi SAKURAI, Shunichiro UENO, Jyunya NISHINO, Iishikawajima-Harima Heavy Industries Co.,Ltd

F 4 Hazardous Waste and Others

【 Thursday, November 1, 2001 Room 6, Yokohama Kaikou Kinen Kaikan 14:10 -15:40 】

- F 4-1 A Study on Environmental Toxicity of Chemical Gout Materials
Dong-Woo KIM, Jai-Young LEE, The University of Seoul, Byung-Sik CHUN, The Hanyang University
- F 4-2 Desulfurization System For Treatment of Sulfate-Rich Waste sludge
Tae-Kyu EOM, The University of Kyungsoong
- F 4-3 Solidification/Stabilization of the Sludge from the Textile Wastewater Treatment Plant using Industrial By-products
Sookoo LEE, Seoul National University of Technology
- F 4-4 Comparison of Effect of Sodium Hydroxide on the Decomposition of 2-Chlorophenol and Phenol in Supercritical Water and at Supercritical Water Oxidation Conditions
Geun-Hee LEE, Busan City Hall, Teppei NUNOURA, Kazuo YAMAMOTO, The University of Tokyo
- F 4-5 Gasification Characteristics of Sewage Sludge in Various Operating Conditions
Byung-Soon CHOI, In-Hee HWANG, Dong-Hoon LEE, The University of Seoul
- F 4-6 A Study on the Removal Reaction of Sulfur Dioxide by Slaked Lime in Parallel-flow Dry Absorber
Jun-Ha PARK, Se-Kyung JANG, Sung-Keun BAE, Changwon National University

廃棄物学会研究発表会 優秀発表の表彰について

年会委員会

1. 優秀プレゼンテーション賞

目的：優秀な発表を表彰することで、研究発表会を活性化、参加意欲の向上を図る。

対象者：研究発表会で口頭発表を行う正会員および学生会員（会員資格は年会実施時で判定）、年齢制限は設けない。発表者が非会員、事前の連絡無く発表者を変更した場合は授賞対象外とする。

過去に2回以上受賞している発表者は授賞対象外とする（本賞の目的が、研究発表会の活性化・参加意欲の向上にあるため）。

審査員：セッションの座長2名とする。

審査基準・方法：

- 1) わかり易さ、OHPの良否、発表時間、質疑応答の4項目について評価する。
- 2) 審査員は～を総合的に見て、1、2、3の順位をつける。
- 3) 1、2、3に重みづけ得点を与え、審査員2名の審査の総合得点を算出し、セッションごとに最高得点者を候補者とする。
- 4) 総合得点の上位より全発表者数の6%程度を選出する。

公表方法：学会ニュース及び学会誌において氏名を発表する。後日、個人あてに副賞を送付する。

2. 優秀ポスター賞

目的：優秀なポスター発表を表彰することで、研究発表会を活性化、参加意欲の向上を図る。

審査員：廃棄物学会役員、常設委員会委員、年会実行委員会委員

審査基準・方法：

- 1) 審査員が総合的に判断する。（特に評価基準は設けない）
- 2) 審査員は優秀なポスターを3つ選び、講演番号を投票用紙に記入する。
- 3) ポスター発表終了後、得票数を単純に合計し、上位10%程度を選ぶ。

表彰方法：懇親会の席上で発表し、会長が授与する。本人が欠席の場合は、代理の者が受領する。

公表方法：学会ニュース、学会誌の年会特集号で報告する。

第12回研究発表会参加申込書（当日受付用）

（必要事項を記入の上、切り取って当日会場にお持ち下さい。）



参加者氏名				
勤務先名	連絡先電話番号： ()			
会員資格 (会員番号を記入)	正会員 No. _____	公益会員 No. _____	賛助会員 No. _____	学生会員 No. _____
勤務先種別 必ず該当するものをで囲って下さい。	(1) 大学・高専 (2) 国(省庁・研究機関) (3) 地方(都道府県・市町村・組合等・研究機関) (4) 公社・社団・財団 (5) 各種民間団体 (6) 一般市民 (7) 民間企業(廃棄物関連メーカー、エンジニアリング・建設会社・コンサルタント・処理・メンテナンス・その他)			
所在地	都道府県のみご記入下さい		都・道・府・県	
事務局記入欄	No.	¥7,500	¥4,500	¥12,000

